



毎朝、朝顔を水をや

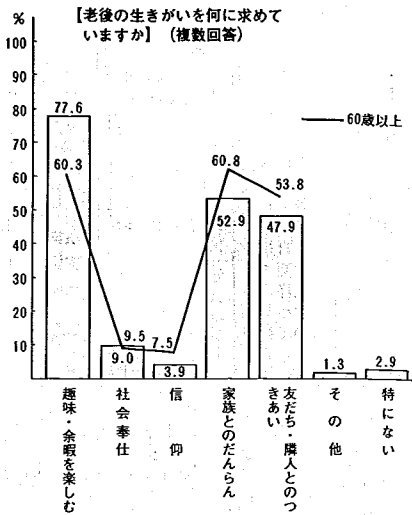


川崎さん

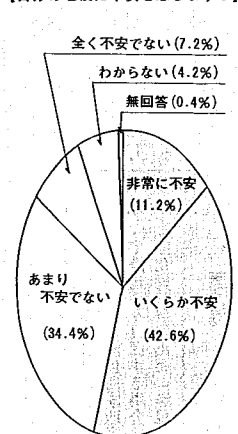
植木さんが百一歳に

新津市の最高年齢者は、植木謹爾さん(大安寺)です。現在百一歳で、今年の十月には百二歳を迎えられます。耳が少し遠くなったばかりは、いたって健康で持病もなし。

毎朝、六時三十分ごろに起き、朝顔を水をやったり、庭の草取りもやります。新聞やテレビもよく見ていて、テレビ番組では、相撲やプロレスが大好きです。また、食欲も旺盛で、自分のふとんの上で下ろして、必ず自分です。



【自分の老後に不安を感じますか】



「長生きする秘けつは、無理をせず、自分のできることはやる。そして、いらぬ心配はしないです」と息子の虎太郎さん。百歳を過ぎても、まだまだ元気な植木さん。「これから、人の厄介にならないように生きていきたい」と力強く語ってくれました。

この植木さんに続くのが、川崎タミさん(山谷町)です。現在は九十九歳で、来年の一月には百歳を迎えられます。子どもは、このころは体が弱く、七十歳を過ぎてから丈夫になっ

たという川崎さんですが、今は、ふとんの上で横になって、息子がよく見ていて、起きて毛布をたたんだりするそうです。

「伯母は百一歳まで生きました、もう一人の叔母は九十六歳で家が元気で長生きする家系かもしれないね」と娘のキミさんは、おっしゃっていました。

なお、当市には、七十五歳以上のお年寄りが二千六百九十七人おられますが、市では、今年も敬老の日、七十五・八十四歳の方に二千元、八十五歳以上の方に三千元の敬老祝金を贈りま

ました。回答が一番多かったのは、「趣味・余暇を楽しむ」で七七・六％。次いで「家族とのだんらん」が六〇・八％を占め、トップになっています。このことから、年をとると「家族とのだんらん」に生きがいを求める人が多いことがわかります。

また、「自分の老後に不安を感じますか」という質問では、「非常に不安」(一一・二％)と「いくらか不安」(四二・六％)を合わせた五三・八％になり、過半数の人が老後に不安を感じています。しかし、六十歳以上の人は、「あまり不安を感じていない」が四一・七％でトップになっています。不安を感じていない人に「どんなことに不安を感じますか(複数回答をたずねたところ、「健康」(七六・五％)と「生活費」(五四・八％)が大部分を占めています。

特に六十歳以上の人は、年齢と「健康」(八二・七％)が圧倒的に多くなることから、健康第一という考えがわかります。

高齢化社会は、かけ足でやってくる。この機会に、老人の生きがいや老後について、今一度、考えてみてください。

求めよう！生きがい 考えよう！豊かな老後…

新津市長寿番付

(9月10日現在、敬称略)

- 植木 謹 爾 101歳
明治17年10月27日生 大安寺
- 川崎 タミ 99歳
明治20年1月25日生 山谷町1
- 二村 チヨ 96歳
明治22年12月28日生 秋葉1
- 植西 ヤセ 96歳
明治23年2月13日生 美幸町3
- 本間 トラ 96歳
明治23年2月23日生 市之瀬
- 田村 リイ 95歳
明治23年11月13日生 蒲ヶ沢
- 渡辺 タノ 95歳
明治24年1月4日生 新町3
- 松本 マツノ 95歳
明治24年1月20日生 中野1
- 安達 サク 95歳
明治24年3月3日生 草水町3
- 白井 ミツ 95歳
明治24年4月16日生 本町2

現在、わが国のお年寄り(六十五歳以上)は、一千二百万人を超え、総人口の約一〇％を占めています。この割合は、今後ますます増加し、昭和九十年には、二〇％を超えるといわれています。五人に一人がお年寄り、高齢者問題は、お年寄りだけでなく、若い人たちが

もやがて直面しなければならないテーマであり、そして社会全体の課題でもあります。九月十五日は「敬老の日」です。この日から一週間は「老人福祉週間」です。この機会に、高齢者問題について、一人一人が真剣に考えてみてはどうでしょうか。

六十五歳以上の人口が一〇％を突破

現在、わが国は、急速に高齢化社会を迎えようとしています。昭和六十一年の六十五歳以上の人口は、一千二百三十九万人で、総人口の一〇・二％を占めています。この数字は、ヨーロッパ諸国(スウェーデンの一六・八％、西ドイツの一五・〇％、イギリスの一四・九％、フランスの一二・二％)に比べると、まだ低くなっています。

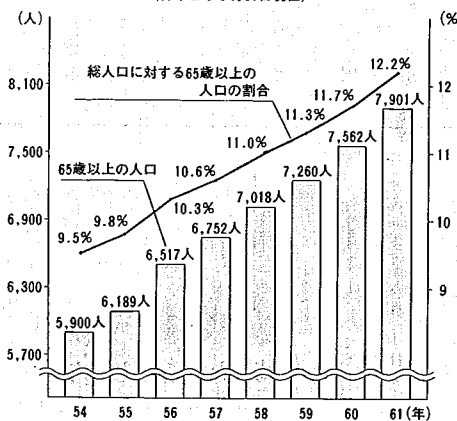
しかし、六十五歳以上の人口の割合が七％から一〇％になったおおよその年数をみると、フランスが七十年、スウェーデンが六十年、アメリカが三十年となっています。これに対し、わが国では十五

年と短く、欧米諸国に比べると、人口の高齢化が急速に進んでいることがわかります。

四世帯のうち一世帯に高齢者

また、六十五歳以上の高齢者の親族がいる一世帯は、昭和六十一年では、九百二十五世帯を占めています。高齢者の世帯の割合は、昭和五十年には二〇・六％、昭和五十五年には二二・七％となっており、昭和六十一年では、およそ四世帯のうち一世帯に六十五歳以上の高齢者がいることとなります。このうち、高齢者の夫婦のみの世帯は、七・八％、二人世帯は二・七％となっており、これも次第に増加してきています。

新津市の65歳以上の人口の移り変わり



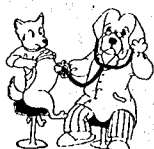
が、二二・二％にも達しています。県平均の二二・七％には及びませんが、全国平均を大きく上回っています。

右のグラフは、過去八年間の六十五歳以上の人口の移り変わりです。これをみると、八年前で総人口に対する六十五歳以上の人口の割合は、二・七％も上昇しています。このことからかなりのペースで高齢化社会が進んでいることがわかります。

人生八十時代を迎え、長くなった老後の生きがい、地域社会への老人の参加など、いろいろな問題が生じています。それでも、いつかは必ず年をとります。高齢者問題は、他人ごとではない、私たち自身の問題なのです。

お買物、ご用命は市内で

犬・猫・小鳥などコンパニオンアニマルの診療

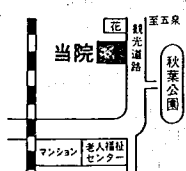


小島獣医科病院

☎24-2223 (秋葉2丁目)

駐車場完備

・時間
平日 AM9:00~12:00 PM1:30~7:00
土・日 AM9:00~12:00 PM1:30~3:00
・祭日 AM9:30~12:00(予約)
・案内
獣医科診療全般
動物コンサルタント
グルーミング
ホテル



お買物、ご用命は市内で

護身と長寿若返りの妙技

小学四年以上の男女百歳でも少々体の不自由な方でも大丈夫
勇気と自信と健康を求められよ
週1回くらいが最適 水・金夜7時~9時まで 日曜日午後2時~4時まで



やわら柔術健康道場

新津市(バス停前) 道場 古峰院 ☎24-0470
自宅連絡所 食堂 善乃屋 ☎22-1058
五泉道場 緑町 市原工場内 ☎42-0336